

(4) 住宅の建て方

居住世帯のある住宅の建て方別住宅数をみると、平成20年の一戸建ては169万戸、長屋建は9万戸、共同住宅は413万戸となっている。平成20年の構成比をみると、共同住宅の割合が約7割となっている。

平成20年の共同住宅の階数別共同住宅数の割合をみると、東京都、全国ともに「3～5階まで」が最も高く、東京都が39.2%、全国が39.8%となっている。

さらに、東京都で平成15年と比較すると「6階以上」の割合が4.7ポイント上昇した。

また、昭和53年と平成20年を比較してみると、「1～2階まで」は37.7ポイント低下、「3～5階まで」は13.3ポイント上昇、「6階以上」は24.5ポイント上昇し、共同住宅の高層化が進んでいる。

共同住宅のエレベーターとオートロックの有無について、全国と東京都を比較すると、エレベーターとオートロック共に、東京都が高い割合になっている。(表4、図4-I・II)

表4 居住世帯のある住宅の建て方別住宅数—東京都(昭和53年～平成20年)

(単位:戸、%)

年次	総数	住宅の建て方			
		一戸建て	長屋建	共同住宅	その他
昭和53年	3 812 000	1 480 000	194 000	2 095 300	42 700
昭和58年	4 028 600	1 500 200	160 100	2 325 400	43 000
昭和63年	4 304 900	1 484 100	134 200	2 647 400	39 200
平成5年	4 660 300	1 445 200	126 500	3 044 000	44 600
平成10年	4 941 700	1 498 400	111 800	3 289 200	42 200
平成15年	5 434 100	1 608 700	101 100	3 697 600	26 700
平成20年	5 939 900	1 686 500	93 700	4 134 900	24 900
平成20年構成比	100.0	28.4	1.6	69.6	0.4

図4-I 階数別共同住宅数の割合—東京都(昭和53年～平成20年)

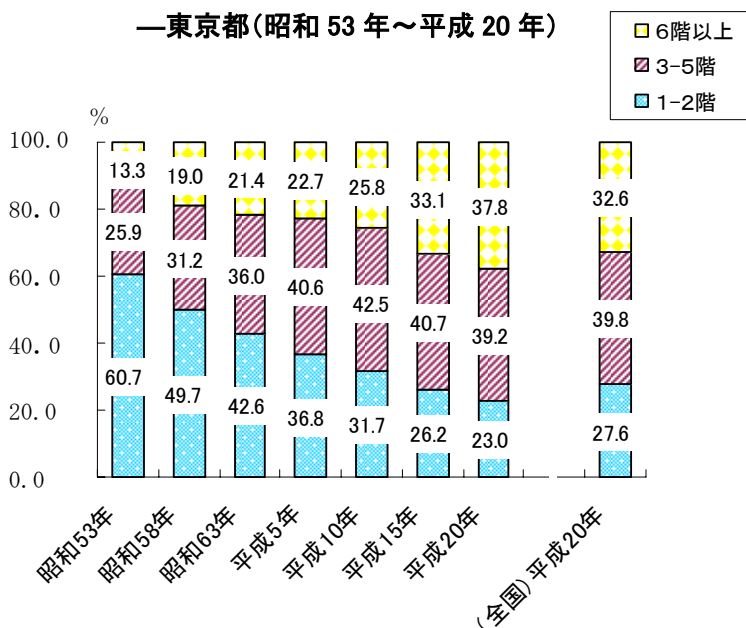


図4-II 共同住宅のエレベーターとオートロックの有無—全国・東京都(平成20年)

